

March 31
2006

みやぎいきいきテニス連盟

会 報 第37号

創立20周年記念号



SINCE 1986

MTF

みやぎいきいきテニス連盟



みやぎいさいぎテニス連盟

祝二十周年記念大会

平成17年11月5日(土)
於: 七北田公園テニスコート

委員長挨拶

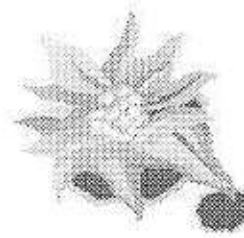
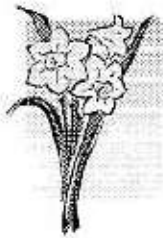
中村 克宏

また新しい年になりました。昨年は役員、会員皆様のお陰で20周年の節目を無事に終えることができました。この会報も記念号です。厚くお礼申し上げます。

昨年はしかし我々シニアテニス愛好者の為に多大なお力を払われた日本シニアテニス連盟会長鈴木義一様(98歳)がおなくなりになりました。誠に残念に存じます。

また今年は発足時から事務局業務の大半を担当されていた高橋龍夫氏が大学教授を定年退職されることになり、少し自由な時間を持ちたいし、というようなご希望もお聞きしました。従いまして従来の事務局業務の少なくとも一部を複数の委員で分担する方向で話し合いを進めております。これにつきましては会員の皆様からのご意見、積極的に参加したいというご希望などが必要であります。体制作りには半年あるいは一年かかることも予想されます、ぜひ私を含め運営委員、幹事にご意見を賜りたいと存じます。

昨年の会報でも触れましたが、仙台市以外の方の加入、競技会への参加を増やすにはどういふふうな工夫が必要かということですが昨年は石巻の鈴木東行さんのお骨折りで、女川町で県北の有志と仙台の会員の対抗戦の形でダブルスの試合を楽しみ(30名参加)、サンマ等のバーベキューをごちそうになってきました。これを一つのきっかけにしたいと考え今年はいわきVTCとの対抗戦で仙台市以外の会員に多数参加していただきみやぎを2チームにし3チームの対抗戦をグリーンピア岩沼(県南)で、9月9日(土)、10日(日)を予定しております。



◆ 目

次 ◆

委員長挨拶	中村 克宏	1
祝辞 いわきVTC会長	塩坂 敏夫	2
歴代委員長の寄稿		
宮城県のテニス史散策	村上 和夫	3
宮城県壮年テニス連盟の発足と上山弘先生	山本 忠	6
20年にもなったのですね!	伊藤 一利	7
元会員の寄稿		
前向きで、これからの人生を楽しもう	山内 宏	8
なつかしい菊田さん	奥井紀美子	9
会員の寄せ書き		10
創立20周年記念大会報告		
競技委員 佐々木宏昭		17

平成17年度総会報告		
副委員長 和田 忠彦		17
技量別Bクラスに優勝して	布留川 三枝子	19
混合ダブルスBクラスに優勝して	猪俣 ゆや子	19
リタイア後の生きがい	菊池 功	20
連盟の推移(会員数、三大大会優勝者、役員)		
事務局		21
諸行事のご案内と参加申込方法について		
事務局		25
年間行事予定	事務局	26
主要大会要項	事務局	27
会員名簿	事務局	29
連盟規約	事務局	35
平成18年度の役員と担当任務	事務局	36

祝 辞

いわきベテランテニスクラブ会長 塩坂 敏夫

みやぎいきいきテニス連盟が此の度創立20周年をお迎えになられました事、先ず以てお目出度く、心からお慶びとお祝いを申し上げます。

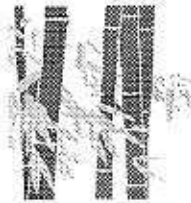
貴連盟におかれましては会員相互の練習会や年数回に及ぶ各種大会に全員出場されてテニスの普及、発展と健康増進を目的として積極的に活動されて、常日頃優秀な成績を納められている事と伺っております。会員皆様の精進の賜物であろうと願の下がる思いで御ざいます。

特に我がいわきベテランテニスクラブ（I. V. T. C）とは約20年にわたり毎年交互に練習会を開いて一日楽しくプレーしている事は誠に珍しく亦すばらしい計画と思っております。

第一回目の昭和62年9月からの一覧表を御覧下さい。昨年の9月で19回目で奇しくも本年は20回目で貴クラブ創立20年と同じになりました。誠に御目出度い事と思えます。

私達 I. V. T. C. も本年四月で創立25周年を迎える事になります。月日のたつのは早いもので“歳々年々人同じからず”で、創立当時のメンバーも2～3人となりました。然し貴クラブも当クラブ同様永久に不滅です。

20周年といふ節目を契機として貴会のメンバーの全員が益々健康で明るくはつらつとして輝かしい未来に向かって発展されん事を御期待申し上げて御祝いの言葉といたします。



いわきベテランテニスクラブとみやぎいきいきテニス連盟との対戦の歴史

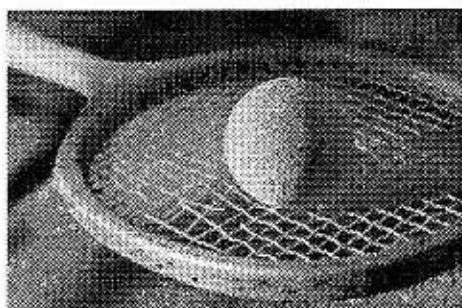
回数	日 時	会 場	宿 泊
1	S. 62年 9. 14	小名浜C. C. テニスコート	小名浜C. C. ロッジ
2	S. 63年 9. 24	サンスポーツ蔵王	ホテルサンルート宮城
3	H. 元年 9. 17	新舞子ハイツ テニスコート	ホテルサンルートいわき
4	H. 2年 11. 17	グリーンピア岩沼 テニスコート	グリーンピア岩沼
5	H. 3年 9. 28	グリーンピア二本松 テニスコート	グリーンピア二本松
6	H. 4年 9. 26	サンスポーツ蔵王	リゾートインザオウメッツ
7	H. 5年 9. 25	ルネッサンス棚倉	ルネッサンス棚倉
8	H. 6年 9. 24	サンスポーツ蔵王	遠刈田温泉 大忠旅館
9	H. 7年 9. 30	富岡町スポーツセンター	小浜 とりふじ旅館
10	H. 8年 9. 28	蔵王 B&G海洋スポーツセンター	遠刈田温泉 大忠旅館
11	H. 9年 9. 6	福島市 森合庭球場	土湯温泉 観山荘
12	H. 10年 10. 3	蔵王 B&G海洋スポーツセンター	蔵王ハイツ
13	H. 11年 9. 25	いわき簡保センターテニスコート	いわき簡保センター
14	H. 12年 10. 7	仙台 茂庭荘テニスコート	仙台 茂庭荘
15	H. 13年 10. 6	いわき簡保センターテニスコート	いわき簡保センター
16	H. 14年 8. 24	サンスポーツ蔵王	蔵王ハイツ
17	H. 15年 9. 20	新舞子ハイツ テニスコート	新舞子ハイツ
18	H. 16年 9. 11	サンスポーツ蔵王	蔵王ハイツ
19	H. 17年 9. 10	新舞子ハイツ テニスコート	新舞子ハイツ

宮城県のテニス史散策

村上 和夫 (H元～H3 委員長)

創立20周年を迎えたこと、本当に目出たく、ご同慶に耐えません。

特集の会報を作るので原稿をとられ、何を書いたらよいものかと思いましたが、この機会に、宮城県のテニスの歴史を振り返って見ようかと思えます。



《戦前の宮城県のテニス》

まず、話の順序として日本のテニスから入ります。日本にテニスをもたらしたのは、明治の開国の時にやって来た外国人でした。横浜や神戸の外人居留地で、外人同志で楽しんでいたようです。しかし、日本人の間にはなかなか広まりませんでした。ボールやラケットなどの用具を入手するのが難しかったからだと言われています。事実、日本の当時の技術では、硬式のボールは作れなかったようなのです。

結局、日本では代わりにゴムだけの代用ボールが考案され、軟式テニスという日本独自の型でスタートすることになります。これが明治23年頃のことです。

一方、硬式の方は、徐々にではありますが日本人の間にも広まって来て、明治33年頃には、東京や神戸にローンテニスクラブが生まれていました。

大学で最初に硬式テニスを採用したのは慶應大学です。大正2年のことです。この頃に軟式から硬式に転向した選手には卓越した人材が多く、後に世界のひのき舞台に躍り出すことになります。その代表が、熊谷一弥、清水善造、柏尾誠一郎でした。

まず大正9年、熊谷と柏尾がアントワークオリンピック大会に出場し、シングルスで熊谷が銀メダル、ダブルスでも熊谷、柏尾で銀メダルを取りました。次いで翌大正10年には熊谷、清水、柏尾の日本チームが、日本として初めてデ杯戦に参加し、先進諸国を次々になぎ倒して、アメリカと決勝ラウンドを戦うという快挙を成し遂げました。

これを機に、日本の硬式テニス熱は一気に高まり、翌11年には、日本庭球協会が発足し、また、第一回全日本選手権大会が行われたのでした。

さて、これから本題の宮城県に入ります。宮城県で硬式テニスが採用されたのは、東北大学と旧制二高が始まりでした。いずれも大正18年に硬式庭球部が生まれています。勿論これは、大正9,10年の日本テニス界の快挙に触発されたことだったと思えます。

これは全国的な現象だったようです。ちなみに、北海道においても同じ頃に、北海道大学に硬式庭球部ができ、東北大と北大は早くもこの年に定期戦を行っています。この定期戦は今も続けられていて今年(平成17年)が第76回だそうです。

一方、二高は大正年代から水戸高と定期戦をやっていたようです。これも、旧制高校が廃止される戦後まで続きました。これらの各校の定期戦のほか、仙台では以下のような大会が毎年行われていました。

まず、インターハイです。インターハイというのは、高校、高専校による対抗戦で、全国を四つのブロックに分けて予選を行っていました。仙台で行っていたのは、北関東、東北、北海道ブロックの予選で、参加校はおおむね次のような学校でした。

二高、山形高、弘前高、水戸高、新潟高、北大予科、仙台高工、福島高商、盛岡高農、小樽高商、桐生高工、高岡高商

初めの頃は高校も高専も一緒でしたが、昭和7年から、高校の部と高専の部に分けて行われるようになりました。

次に東北選手権があります。これは昭和7年に始まりました。これには、東北の学校のほかに、少数ですが社会人も参加していました。戦前は全く学生中心のテニスでした。

いま1つ東北学生選手権があります。これは昭和8年に始まりましたが、参加者はほとんど東北選手権と同じで、ただ社会人が入っていないだけの違いでした。

この三つの大会は、いずれも東北大学庭球部が主催し、コートも東北大学のコートで行われていました。戦前には、東北にも宮城県にも、テニス協会というものがありませんでしたので、東北大学庭球部がそれに代わる役割を果たしていたと言っていいでしょう。

ここで、東北大学の庭球部長であった中川善之助先生のことについておきたいと思えます。中川先生は、昭和7年から同大学を退官される昭和36年まで、約30年にわたって庭球部長を務められました。この間、常に東北、宮城県のテニス界にも目を向け

られ、その健全な発展とレベルの向上に力を尽くされました。

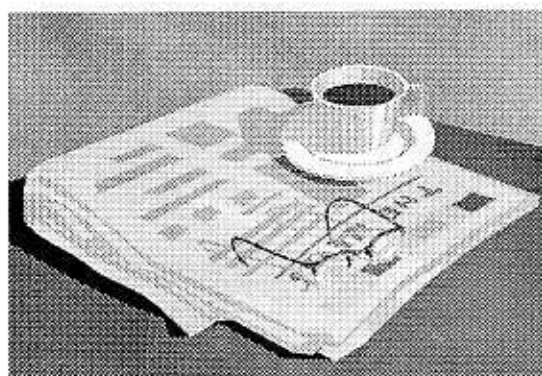
上記の各大会の様子は、翌日の河北新報にこと細かに解説つきで載るのが常でしたが、実はその記事の原稿は、中川先生が自分で書かれて河北に持ち込んでいたようなのです。このあたりからも、先生のテニスにかける情熱の程が窺われると思います。

先生は、昭和14年に日本庭球協会の支部が東北に設けられた際に、その支部長を引き受けられ、また、日本庭球協会の理事にも就かれました。まさに、東北テニス界のリーダーでした。

もう一人、宮城県のテニス界の大功労者である伊沢平勝氏にも触れておきます。伊沢さんは、中川先生のテニスにかける情熱に共鳴して、若くして、多分20代の後半ぐらいだと思いますが、自宅の屋敷内に3面ものテニスコートを造りました。そこに仙台のテニス人達が集まり、仙台ローンテニスクラブ（通称仙台クラブまたは伊沢クラブ）が生まれました。昭和7年前後のことと思われまふ。伊沢さんは勝山酒造の当主でしたが、後に七十七銀行の頭取や仙台商工会議所の会頭になられ、地元経済界にも大きな足跡を残されました。

中川先生の著書の中に、「北向きの部屋」という随筆集があります。その中にテニスという一項があって、大学以外のテニス人口の増加にも一役かって力を尽くしたこと、仙台のテニス人口が10人にも満たなかった頃に、伊沢氏と二人で開拓に苦勞したことなどが書かれています。また伊沢さんは、中川先生が亡くなられた時、「中川先生は俺の兄貴のような存在だった」と、私にしんみりと話してくれたことがありました。こうしたそれぞれのお言葉からもお二人の間柄を窺い知ることができます。

私はこのお二人には、ひとかたならぬお世話になりました。在りし日のお二人のことを思うと、懐かしさで胸が一杯になります。



《戦後の宮城県のテニス》

終戦は昭和20年8月でしたが、日本庭球協会は早くもその年の11月には、復活のための総会を開催しています。復活後の第一戦は、21年の4月に行われた関東学生選手権大会でした。

宮城県ではどうだったかという、復活の口火を切ったのは二高でした。私が同校に入学した昭和22年のことです。東北大医学部のコート跡を自力で整地整備し、部活動を開始しました。

しかし、この復活の道は苦勞の多い道でした。何といっても用具の調達に苦勞しました。ボールは、日本庭球協会からの配給でしたが、数が極めて少ないのでほとんど毛がなくなるまで使いました。ラケットや運動靴も市販されていませんでした。ラケットは、伊沢さんから中古のラケットを分けていただいて使いました。10数本ぐらいはいただいたと思います。それでも部員全員には行き渡らないので、部共用で使いました。運動靴もないので、練習も試合も裸足でした。

このような状況の中でも、この年、対水戸高戦、インターハイ予選としての北大予科戦が行われた。この年幸いだったのは、年の半ばに伊沢コートが復活し、秋には二高もこちらに移ることができたことでした。コートの復活に伴って、仙台クラブも再興されました。なお、東北庭球協会史によると、この年の内に、このコートで東北選手権大会が行われたとありますが、私の記憶にはありません。学生抜きで行ったのかも知れません。

翌23年には、東北大学庭球部も復活し、伝統の対北大定期戦を再開しました。秋には、東北大と二高との間で東北学生選手権も行われ、高橋恒男君が複で優勝しました。私は単で準優勝でした。

またこの年に、宮城県庭球協会が設立されました。役員はすべて仙台クラブのメンバーで、会長、佐浦菊次郎（塩釜の浦霞酒造当主）、理事長、森昭などでした。県協会の発足は、全国の中でも早い方でした。ちなみに関東でさえ神奈川27年、東京28年などとなっております。

翌24年には、仙台市が全国都市対抗に出場しました。なおこの年に東北庭球協会が設立されていますが役員は宮城県協会の役員の兼務でした。この頃は、テニスクラブと言えば仙台クラブ一つだけで、また、東北他県は体製造りが遅れていましたので、仙台クラブ即宮城県、宮城県即東北というような感じでした。

戦後には大きな大会として、従来からのもの他

に、国体と都市対抗の二つが加わりました。国体は成年男女、少年男女と四種目ありましたが、当初はいずれも東北から出られるのは一県だけで、東北にとっては厳しいものでした。都市対抗はもっと厳しくて東北、北海道から1つでした。さてこの国体ですが、昭和27年の第7回大会を、宮城、福島、山形の3県で行うこと、庭球会場は仙台市とすることなどが25年に決められました。宮城県は宮城野原に総合運動場を造ることとし、27年にはテニスコート8面も完成しました。しかし、8面ではどうしても不足だったので、競技は県営コート8面、伊沢コート3面、東北大コート2面、仙鉄コート2面の4会場に分散して行われました。

このような準備期間不足のうえに、会場は分散開催という難しい大会を、当時数名ぐらいしかいなかった県協会スタッフ達がよくもこなしたものだ、今考えても全く驚きの一言です。私達学生は雑役の手伝いでした。

私と高橋君は、昭和28年に大学を卒業し、七十七銀行に入行しましたが、入行してすぐに七十七に庭球部をつくりました。コートは伊沢コートを使わせていただきました。このようにして、伊沢さんのコートは学生の時から事ある毎に利用させていただきましたが、使用料は一度も出したことはありませんでした。何時もただでした。七十七庭球部の伊沢コート使用は、銀行がコートを造った昭和37年まで続きました。



話は昭和39年にとびます。その年のある日、私と樋渡滋君と草野弘三君の三人が、県協会の元理事長に呼び出しを受けました。要件は、協会の仕事を君達若い者でやって欲しいということでした。結局、三人の中で最年長であった私が理事長をやる羽目となってしまいました。私は、それから昭和62年に退任するまで理事長、副会長、会長を歴任し、協会とは長い長い付き合いをすることになります。

引き継いでまず驚いたのは、協会規約がないとい

うことでした。私の最初の仕事は規約作りでした。もっともこの頃は、協会に加盟しているクラブとしては、仙台クラブ、七十七の庭球部、それに東北大職員の職員クラブの三つぐらいしかありませんでしたので、みんな仲間内のようなもので、規約なんかなくても別段支障ないような状態でした。

昭和58年に書かれた県協会史によると、58年時点での協会加盟団体68、登録者数1500人とあります。今はもっと増えているでしょうが、30年代と比べると、全く隔世の感があります。

ここで、七十七庭球部時代の思い出を1つ書かせていただきます。それは、全国実業団対抗のことです。全国実業団対抗というのは、全国を六つのブロックに分けて予選を行い、それぞれの勝者6チームが集まって戦う対抗戦です。これに、七十七は昭和40年に東北代表として初出場しました。この年は東京開催で会場は田園コートでした。試合は一回戦敗退でしたが、その後で、コート管理人の特別の計らいがあって、デ杯とか全日本選手権の決勝とか大事な試合にしか使わないというメインコートを借りることができ、数時間、私達だけで遊ばせてもらう僥倖に恵まれました。何とも思いがけない出来事でした。なお七十七は、その後43年、44年、45年と3年連続してまたまたこの大会に出場しました。

昭和40年代は、日本のテニス界にとっては、1つの転機ともいえるべき年代でした。いわゆるテニスブームが全国的に起きました。東京周辺では40年頃から既に始まっていたようですが、その波は津波のような勢で全国各地に波及して行きました。

仙台にブームがやって来たのは、40年代半ば過ぎ位の頃でしょうか。それを加速させたのは民営のクラブだったと思います。仙台の民営クラブの第1号は、阿部かまぼこの小田原工場跡に開設されたグリーンテニスクラブでした。46年か47年頃のことと記憶しています。民営クラブは、その後昭和60年頃まで次々と開設されて、それぞれテニス教室を熱心に行ってきましたが、これがテニス人口の増加、底辺の拡大に大きく貢献していると思います。なおこの間に社会人のテニスクラブの数も飛躍的に増加し、宮城県では、会社や官庁などのクラブが集まって、宮城県社会人テニス連盟という組織を作っております。この連盟は、社会人クラブの交流対抗戦や実業団対抗の宮城県予選などを行っていたようです。

最後に、女子連支部と壮年連盟の設立について触れたいと思います。日本女子連の発足は昭和43年となっております。初めは単に女子庭球連盟という

名称で、東京で生まれました。支部が設けられたのは結成10周年の時でしたが、それでも関東の数県だけでした。この年に名称を日本女子庭球連盟と改めました。やっていたこととしては、東京で行われる大きな大会の運営への協力や、ジュニアの指導、育成などでした。

56年に日本庭球協会に対して、女子連をその下部組織として認めるよう要請しましたが、全都道府県の三分の二に支部ができるまでは保留というのが日庭協の回答でした。ここから各県への支部開設の勧誘が始まったのでした。

宮城県の協会に誘いがあったのは昭和57年のことであつたと思います。私はこの女子連には多少関心を持っておりまして、組織がどうなっているか、各県の加盟の状況はどうかなどを伺いに、この年、女子連本部を訪ねたことがあります。会長以下役員の方々が応対してくれました。「女子のテニスは女子の手で」という理念には共感して帰って来たのを覚えています。事実私も、テニス人口の急激な増加、その階層の多様化に対応するには、女子は女子の手で、壮年は壮年の手でという方式しかないのではないかと、協会さえあればいいという時代はもう終わったのではないかと思ひ始めていました。

私は、日本テニス協会史のページをめくったりしながらこの原稿を書いています。つい先程一つ新しい発見がありました。その中に、当時の女子連会長の桑田さんが寄せられた一文があつて、そこに、57年には宮城県も支部結成の運びとなり、これで加盟県数は21になったと書いてあるのです。恐らく、私の女子連訪問を以つて加盟とみなしたものと思われまふ。当時の女子連は、日庭協からつけられた三分の二の県の加盟という条件をクリアーすることが喫緊時でしたので、いかに加盟県数増加を急いでいたかが窺われて興味深いものがあります。

県協会では、レディース委員会とかベテラン委員会といった専門委員会を設けて、時代の変化への対応策を検討しておりました。ただ女子の方は、女子連加盟はいいとしても、どなたにそのまとめ役をお願いしたらよいか全く見当がつかないような状況でした。当時は今と違って、女子との間では、コミュニケーションをうまくとれるような環境が整っていなかったと思います。そのためもあつて、2年ぐらゐの間、無為の時を過ごしてしまう結果となりました。ただその間も、何とかしなければという焦りの気持はありました。

一方では、壮年連盟創設を望む声もあちこちから

聞こえてくるようになっていました。そこで協会は、当たって砕ける気持で、両方同時に旗揚げすることに踏み切つたのでした。同時進行、同時ゴールが目標でした。

ここでまた1つ裏話を挿入します。丁度その旗上げの直後のことだつたと思いますが、後日、亡くなられてから当連盟に多額の寄付をされた菊田さんともう一人茅根さんという方が、二人で私のところを訪ねて来たことがありました。用件はというと、家庭婦人テニス連盟というものを作るので私に顧問になって欲しいとのことでした。私は、協会が今女子連設立に向けて動いているさなかなので、お引受けする訳にはいかないとお断りし、女子連と一緒にやられたらどうですかと勧めましたが、私達は女子連とはレベルが違うからやはり別に作りたいと言つて帰られたのでした。聞くところによると、この家婦連も今も存続して活発に活動しているとのこと、これもまた目出たいことだと思ひます。

さて壮年連盟と女子連ですが、壮年の方は、上山先生、山内さん、南インターの下山さんの三人を協会の役員会にお呼びして、協会の意向をお伝えし協力をお願いしました。後は全くお任せでした。多分、上山先生と高橋龍夫さんあたりが中心になってまとめ上げて下さつたのではないかと思ひます。

女子の方は、当時レディース委員会の責任者であつた関さんが自分で発起人候補を選び、協力をお願いしたようでした。こちらは不安な点もあつたので、発起人会、準備委員会すべて私と樋渡理事長が出席し、顔だけでなく口の方も随分と出させていただきました。

このような経緯を経て、昭和61年のほとんど同時の結成に辿り着くことが出来たのでした。この後のことについては、皆様よくご存知と思ひますし、私の方はいささか歩き疲れてきましたので、この辺で散策を終わりにしたいと思います。

なおこの稿を書くに当たり、日本テニス協会60年史および東北大学庭球部80年史を参照したことを付記します。



うが、私は会報を読み続けている内にも、20年もの歴史を回顧する記念誌ともあればどうしても取り上げさせて戴きたいことに連盟の創設以来の高橋龍夫氏のご存在があります。

高橋氏は、私どもの再三の委員長就任の徳意にも拘らず、表に立つことを頑なに拒まれ乍らも、連盟の創設以来常に連盟の果すべき役割見解と将来を見据えた確たる方針を持ち続けられ、事業の展開に当たっての緻密でそつのないその采配ぶりに、私などは常々感嘆・敬服の思いで拝見していたことを思い出します。

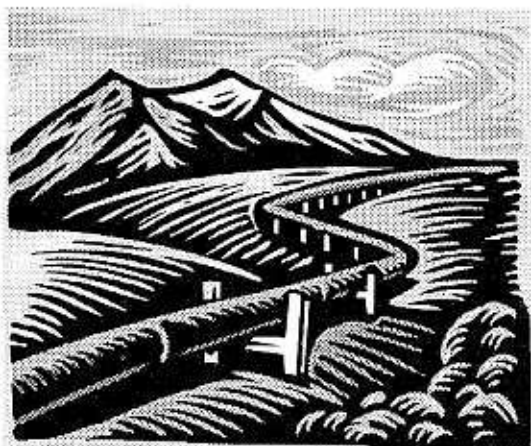
連盟の今日があるのは、正しく高橋氏の存在なくしてはあり得なかった様な思いをするのは、私ばかりでなく恐らく多くの会員さんの共通の思いではないでしょうか。改めて深い感謝の気持ちをお伝えしたいと思う次第です。

20年という歳月は、何時しかこの私奴も卒寿の坂を大きく超えてしまい、気がついて見ますと大勢居られた筈の同年齢層のお仲間も、思いのほかになくなっていくことに気づきました。

その中で私などは「ヨロヨロ」と歩きにも似た鈍い動きを幾らかでもカバーしようと研鑽？を積んで完成させた鞆のアンダーサーブも、この処すっかり相手に覚えられて通用せず、加えて連盟のご配慮？により「特別会員」の称号を奉られるに至っては、俄かに寂しさが湧いてきてコートに運ぶ脚を鈍らせているこの頃であります。

『青春とは心の持ち方』と教わっても、取ってしまった歳を今更返す術もないことから、これからは努めて足・腰をかばって、ひたすら若い方の同情に縋りながら今しばらく黄色いボールに戯れたいと思っただけですもの・・・。

「みやぎいきいきテニス連盟」のますますのご発展と、会員の皆さんのご健康を祈ります。



※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

前向きで、これからの人生を楽しもう

—20年、10年前の事を懐かしみながらも—

山内 宏 (元会員、愛媛県在住)

四国に帰って、母の世話を始めて早くも4年半も過ぎました。現在の四国での生活について書かせていただき、20周年記念号への寄稿とさせていただきます。

現在93歳になる母の食事他、生活援助をしながら、週に4回(主に午前中)、東方車で30分の所でテニスを楽しみ、月に5、6回、西方車で45分の所へ練習会に出掛けたり、年に2回程テニス合宿に、又3、4回愛媛県シニアテニス連盟(J. S. TAとは別組織)の行事に仲間達と参加したり、J. S. TA四国地区の行事にプログラムの作成と運営にも参加したりと、元気に(最近では体重が少し増えてひざを痛めますが)走り回りながらも、午後から夜にかけては時間があれば、オーディオを楽しむと言った生活を送り、一方町内会の会計役をこの4年間担当しながら、健康を維持するテニスと心をいやす音楽とを共有する仲間達を増やし人の心と心との交流を楽しみに生きてゆこうと色々試みている所です。

1. テニス交流 —ひうち会—

平成14年4月から月1回、愛媛県東予地区のコートにシニアのテニス仲間達が集まってテニスを楽しむ「ひうち会」を始めてます。

会場は6ヶ所(西は今治市から東は川之江町まで)を月ごとに換え、コートは4～5面(使用料：100～260円/面・時間)を使用し、行事内容は午前中は一部ゲームを楽しむ方も居られますが、希望者には2面を使用して、2人で球出しし、ストローク、ボレー、スマッシュ、サーブ&レシーブと一通りの基礎練習をし、午後は全面で、ゲームを楽しむと言う事になってます。ゲームはA、Bクラス別に抽選でペア相手を決めてトーナメント戦を進めたり、混合ダブルスを楽しんだり、又は、試合ごとにペア相手及び対戦相手を変えたりもしてます。

1月には新年会を開催し、8月末にはテニス合宿として1泊2日のテニス交流を楽しんでいます。

参加者は主に愛媛県東予地区の方々で、平均して30数名程度ですが、初中級クラスから全日本ベテラン選手クラスまで居り、西は時には松山から、東は高松方面から、又川之江町(愛媛県最東部)を会

なつかしい菊田さん

奥井 紀美子

菊田さんがこの世にさよならなさってからはや十一年の月日が経ちました。夢のようです。ちょっと背を丸めて歩く姿、コートの上でのきびしい顔、そしてやさしい笑い顔が目には浮かびなつかしきで一杯です。

二日町の自宅の前で菊田さんを拾って、青葉山のテニスコート（当時の壮年の練習場）迄の車の中でのおしゃべりで、ご姉妹が多く、みんな無事に結婚させたこと、お店の仕事に、家事にとメチャクチャ働いたと、苦労話をされ、お話を聞きながら「頑張りやさん、えらいナー」と感心したことを思い出します。

この原稿を頼まれ気になっていたせい、先日夢を見ました。あのなつかしいフォームで私とテニス、強いボールがかえってきます。終わって「奥井さん、十年経ってもあまり上達してないね」とビシヤリ云われたところで目が覚めました。あゝ夢でよかったと胸をなでおろしました。

菊田さんといえはやはり「ねんりんピック」への参加で、三回一緒に遠征しました。何時も張り切って元気で闘志満々の代表選手でした。

毎年命日には二日町の自宅に、庄司さんとお花を持ってお詣りさせて頂いてましたが、ここ二三年御無沙汰していましたので、お電話したところ、御主人様は八十六歳になられ、相愛わらずの一人暮らしでいまだに商売を続けているとお元気そうな声でした。テニスの皆様によろしくとのこと、こゝでお伝えしておきます。菊田さんと再びまみえることは出来なくても思い出を語りあい、偲びあうことで、私たちの心のうちに何時迄も生きていて下さることでしょう。



場とする時には、海の向の岡山からもあります。男性60歳以上、女性50歳以上の方なら予約もなく参加料300円で、午前10時から午後4時までの間、誰でも自由に参加できます。

2. CDコンサート

始めは自宅を会場として、CDコンサートを開催しようとして案内書を公民館報に載せたり、町の文化会館に掲示したりしましたが反応も無いので、テニス仲間達を招待して行っていました。

その後、松山での忘年会（会場：テニス仲間の別荘、ログハウス）に招待された時、自前のステレオ装置を持ち込みCDコンサートを行った所、好評だった事から、ステレオ装置を持ち出す出前コンサートを思いつきました。

しかし、毎回装置一式の運搬には手数がかかる事からステレオ装置を適当な所に設置しておき、CDのみを出前する方が簡単な事に気が付き、そこで先ずログハウスに装置一式を設置する事から始まり現在までに、姉、妹の所他テニス仲間の所、13ヶ所に装置を揃える事となり、それぞれの所でCD、DVD音楽を又時にはCDコンサートも楽しめるようにした所です。

今年7月からは必要なCDのパソコンによるコピーを始め、9月からはカラオケ用DVDのコピーにも挑戦しています。（勿論違法行為にならない範囲内）

今年古希を迎えて、新しい事にも挑戦して来ましたが、今後とも多くの仲間達とテニスを楽しんで、体の健康を維持してゆき、一方音楽療法で心をいやしながら、安定した精神生活も持続してゆき、以下のようなささやかな夢を抱えて、生きている事の楽しさを見い出してゆこうと思っています。

周囲の多くの方々、心身共に健康で、人生を楽しめる期間を少しでも延長してもらえよう、そして今直面して高齢化社会の重要課題になっている医療経費の節減に微少ながらも、多くのテニス仲間と音楽愛好者と共にご貢献できるよう努めてゆきたいと思っています。

最後になりましたが、10数年間の「壮年テニス連盟」当時の事をあれこれ（ねんりんピックや東北マスターズ大会の事など）と懐かしく思い出しながら、仙台地方のテニス仲間達の方々にも、一年でも二年でも長く元気でテニスを楽しんでいただき、何日か又共にテニスを楽しみ合える日を迎えられるようお願いいたします。

元気で、これからも人生を大いに楽しみましょ!!

我らテニス仲間のメッセージ

20周年記念号への「寄せ書き」を会員の皆様に書いていただきました。
葉書での小さな欄に沢山の、イラストや思い出の写真、近況等の寄稿をまとめて
みました。

(順不同)

創立20周年

おめでとう ございます

楽しい行事に参加
させていただき
役員に皆様に感謝です

北野 寿一

NAME 妙子



テニスを長く楽しみたいですね

今年は何歳70歳でテニスシーズンを迎えます。
気持は若いつもりでも、少し打ちすぎると腰に
来る体になり、筋力と体力の衰えを感じるよう
になって来ました。
80歳でテニスをしている人を参考に、技術と
体力の維持を図り、もし、「ねんりんピック」
に出場できましたら、大会で何とかして勝ちた
いと思っています。
今後ともよろしく。

NAME 高橋 哲太郎

テニスを始め、20年多勢の人々との出会いや楽しい一時を毎年
経験させて頂き多数のテニスフレンドに感謝する昨年、いつの
間にか初老の類を迎え最近パソコンを習い始めて3ヶ月過ぎよ
うとしております。

常々技術の向上を願って日々を過ごしております。

健康の為に始めたテニス練習、ゲームの中で相手に対する思い
やりとマナーを保ち、さらに楽しんで行きたいと望んでおります。

次の出会いを前に皆様のご健康を祈るばかりです。 Hiroshi



NAME

Obara

20周年
団

早いものですね。追廻の
コートで水拭きしたり、ローを
かけ落葉を掃いたり。今は
あちこちに良いコートができ
室内でもあり益々楽しい
プレイが出来るところいい
ですね
役員の皆様どうぞよろしく
NAME 坂爪

以知左
飛来球ニ
一球無シ
立ち銘

平成9年に仲間に入れて頂き、早いもので
28年が過ぎました。この間テニスを通じ
皆様に楽しくお付き合いさせて頂きましたこと
感謝申し上げます。年間盛沢山の行事の
計画実行にあたらした歴代会長以下役員
の皆様への御身約の注釈には頭の下
がる思いです。今後ともよろしくお祈り
申し上げます。

NAME 加藤 忠義



連盟創立20周年おめでとう御座います。
各年度の役員の皆様 ご苦労様でした。
私も千葉に転居して8年目に入ろうとしております。 たまに「対いわき親善大会」等に参加させてもらっておりますが、会員の皆様と会う機会は少なく、「MVTF」のグラスでワインを飲みながらいろいろと思い出しております。

千葉県市川市在住
NAME 本間 満雄

連盟結成二十周年御目出度う御座います。
この間、運営に携わってこられた役員の方々及び関係者に感謝を申しあげます。元丸田沢TCオーナーとして結成間もなくより加入させて頂きました。
長い間、幽霊会員の期間が有りましたが今は連盟の行事に参加することが唯一の楽しみになっております。更なる発展をご期待”

NAME SAITO・AKIO

テニス人生始まって20年。
何時の間にか年を重ね
節々の丈分傷んできた今日頃
でもやっぱりテニスは止められない
細く長くのんびりと楽しみたい!!

NAME 奥井 紀美子

創立20周年おめでとうございます!
[み]なさまと出会えて良かった、いきいきテニス!
[や]ってて良かった、いきいきテニス!
[ぎ]じゅつの向上も、いきいきテニス!
[い]っしょにやろう、いきいきテニス!
[き]ぶん良くプレイしよう、いきいきテニス!
[い]つまでも元気に、いきいきテニス!
[き]りよく充実、いきいきテニス!
[テニス]を通じて今後共お付き合いの程宜しく
お願い申し上げます
有賀吟生
有賀昌子

テニスに出会って、30年が過ぎました。
今年、63歳の小田島です。
3年前の還暦を迎えたときに、友人の酒井倭子さんに教えられたことがあります。
それは『男65』ということ。
「男性は、体力はともかく、技術力は65歳までは間違いなく上達のカーブとなるので、頑張って！」
ということでした。
『男65』を座右の銘に、あれから、3年!
相変わらず下手なテニスですが、それでも、少～し、少～し間違いなくレベルアップを感じています。
来年の技量別も酒井先生と組んで、なんとかAクラス決勝トーナメント進出を目指して頑張ってみるか!

NAME 小田島 政司



テニスが
いつまで続く
我々
テニス

NAME 後藤 玉子

冬晴れの空を青い空に見上げて、テニスが
できる幸せを噛みしめています。夏の長くない
テニス人生を楽しくする為の努力は続けて行きた
いと思っております。秋の連盟祭は、善哉交
流のよい仲間と一緒にプレーができ、花壇
合戦も楽しい一日でした。ワインも最高の
これは、春にも開催してほしい仲間には、大
大会にエントリーできない年配者にとっては
嬉しいことです。テニスのおかげで、いろいろ年
齢とお知り合いに会い、思い出を次々、有難
うと思っています。NAME 石垣 晴子

生涯の友 テニス
元気の源、テニス
テニス大好き仲間
健康に気をつけよう
年のだしテニスを楽し
めよう



NAME TOMO.YAEGASHI

50才で始めたテニスは17年目
 お陰で元気な「じいさん」になりました
 80才超の先輩を目標にますます
 楽しくプレーを続けます
 これからもよろしく願いいたします
 奈良 征一郎

春を待ちつつ
 時折、体調が思わしくない時は幾つまでテニスができるのかと不安になり、年齢の近い方の動向が気になります。昨秋、突然体調を崩し医師から運動は当面、駄目ですよと言われた時のショック。生活のリズムが狂い、毎朝空を仰いで溜息をつく有様。万が一の事を考え第二、第三の遊びを用意はしていたもののテニスの代替となるものは見つかりません。人生でテニスに逢った事は本当に素晴らしい喜び、いまはひたすら快復の春を待ちボールを握り感触を楽しんでいます
 菅原昭夫

いきいき生きよう長寿社会
 連盟創立20周年おめでとう御座います。人生でいえば成人を迎える年季に相当し益々のご隆盛が期待されます。皆様のお仲間に入れていただき日も浅く足手まといだけの参加では有りますが何卒宜しく願い申し上げます。長寿社会を元気で幸せに生きていくためには健康寿命を少しでも先延ばしすることが求められます。テニスを通じての交流、ストレスの排除、病気・事故の予防、肉体的な元気にとどまらずに質を伴った健全な心身を保持し可能性にチャレンジする輝きを持ちたいものです。NAME 佐藤 富男

20周年記念おめでとうございませう。
 北野亭様一様撮影に感謝
 お美事で和やかな声
 声におこえます。
 今後の20年を目標
 に精進して参ります。
 杖をついて若い方の
 プレーを観戦がこれ
 楽しいことでしょう。
 皆様へ健康を祈ります。
 山崎 眞水 NAME



もう一つの共通の趣味山歩きです。
 テニスでもよろしく。



酒井 香章
 佐子

20周年記念誌を発刊するにあたり
 あうためて10周年記念誌を読む
 会員の皆様の若くはテニスへの
 情熱を活字から強烈に感じる。
 私もこの情熱を持ち続けながら
 テニスバカを続けたい。

NAME 松山 眞水

連盟創立20周年おめでとうございませう
 振り返れば10周年の時にはお世話役もテニスにも意欲満ちたおれから10年過ぎた年月が早
 せ過ぎ日～ 20周年の今、体力、気力共に下り坂(笑)
 でも先輩の方々のプレーを見習って健康である事が
 大切と、テニスへの情熱を忘れずに続けて行ければ
 大満足致したいと思っております。

NAME 菅野 義治 眞木子

連盟では年間4つの大会行事を
 計画して行っている。このタカハル大会に
 多くの会員の参加ができて良かった。こ
 ゝも同じような意見が私のように思っ
 た。パートナーをみつけれない人が多いので
 全員が単独で申し込み、当日抽選
 で相手を決めようという案も
 企画していたけれど、思いがけない
 パートナーに出逢うかきれない弊
 があるのではないかと、発案の側からの
 提案として打た。今年もテニスには楽しい
 丹治 眞木子 NAME 眞木子



連盟創立も今年で20周年を迎え9月
 には、私も9月14日、20年の歴史
 共有、この20年の間に、はたらく人の方々と
 お知り合ひ、お話し、また旅行を兼ね
 ての研修、四月、名古屋へ、うさぎの谷
 が、去年のこと、お話し、お話し、お話し
 して、この10年、健康を維持し、今も
 を続けたいと思っています。お話し、お話し
 の叙し、NAME G.K

ねんりんピックふくおか2005参加体験記
 私は仙台市の代表として、種目テニス（団体戦）
 でねんりんピックに初参加しました。
 決勝トーナメントでは僅差で敗れましたが、ベ
 スト4辺りも手の届きそうな実感もいたしました。
 結果については予選リーグ戦1位チームは優秀賞
 で、全員銀メダルをいただきました。
 また、第1日目の開会式は福岡ドームで行われ、
 各種の素晴らしいアトラクションを見学できまし
 た。全期間を通じ、若いボランティアの方々の精
 力的な支援に感動しました。
 ねんりんピックの様子を、下記ホームページに
 まとめてみましたのでよろしければご覧下さい。
<http://homepage3.nifty.com/tetsufu/NENRIN/nenrin.htm>
 NAME 海野 哲夫

20周年おめでとう
 ございます。
 ながへく
 テニスライフを
 楽しみたいと思
 い、元気でいます。
 NAME MASAKO.OHTANI



立派に過ぎた今、生涯テニスで
 めざし勝負はさせて頂き
 テニスを楽しんで行きたい
 と思っております。
 NAME 村上 寛

テニスに取り組んで足掛け4年。初め週1〜今
 や週4も有りです。満71の体にはハードながら
 テニスの面白さから、つい“もう少し上手くなり
 たい”の気持ちも湧いて来る。それにしても、テ
 ニスは他の多くのスポーツより圧倒的に多くのテ
 クニックがある。“何でもっと早くから”の思い
 と共に、“体力低下の進む中でのゲーム力アップ
 は難しくなるし…”と心配している現在です。
 先輩の皆さんどうぞ宜しくご指導下さい。
 土生 寛

いよいよテニス創立20周年誌におめでとう
 ございます。会の運営に携わる皆様方の御苦労
 にいつも感謝の気持ちで一杯です。
 この会に夫婦でお世話になってから、早いも
 ので、もう随分経ちますが、益々その奥の深さ
 難しさ（もちろん楽しさも）痛感しております。
 また、テニスをする事で、日々の自分自身の
 心身の健康管理にも、自がいくようになり、正に
 テニスに感謝の毎日です。
 いよいよ冬も本番、皆様、風邪などひきま
 せん、今後長く宜しくお願い致します。
 NAME 大山 真理子

仕事を離れて、いつでもテニス出来る
 最高の日々です。
 テニスの行動範囲も広くなり、青森の
 東北マスターズ大会他・・・
 未熟ながらも、プレーを楽しめる様にな
 り、喜びを感じております。
 落ち着いたプレー出来るよう、もう少し
 レベルアップを図りたいと思います。
 NAME 伊東はつ子

私の生涯スポーツの場、それは「みやぎいきいきテニス連盟」。

今や会員300名になんなんとしている。正直その運営は大変である。この20年連盟運営を支えてこられた事務局幹事を始め、先輩諸兄に心から感謝と敬意の念を表したい。

連盟20周年を機に、運営委員会を中心に多くの会員の力を結集して、更なる発展を全員で誓い合いたいものである。<和田忠彦>

定年退職後始めてラケットを持って団地のテニスクラブが開いたテニス教室に通ったのが始まりです。それ以来十数年も経つのに体も頭も思ふように動かなくなる。奮闘努力の甲斐もなく、技術は未だ初心者の域と出ません。それでも連盟の皆さんの仲間に入れていただきプレーできることを有難く思っています。テニスと大変楽しみにはしており、来たるのまiori続けたいと思っております。ご今後ともよろしくお願ひします。 NAME 高橋重郎

永年続けたテニスを通じ良き友を得てその仲間と楽しいテニスが出来るとはなによりもか之難い喜びを感じます。小さな1つの白球に心と心が通じ合う人々とするばらしいことでしょう。これから良き友と、良い汗をかきたいと思っております

NAME 外山 垣



生後2ヶ月、兄弟の「ジロウ」と共に。成年の今年で満16歳。宜しくお願いします

連盟創立20周年おめでとうございます。 星タロウ



NAME 星 健輔

<川柳>

へボだけけど テニス楽しく
酒うまい

宮城いきいき生
NAME 中村 行秀

此の度4年毎年度の運営委員(会計監事)を御せつかりました。微力ながら連盟発展のため精一杯努めさせ、頂く所存であります。と申し候。他人事よりな部分とありましたが、今後は心を入れ替えて連盟の全体的行事参加を目指す覚悟です。先輩諸氏の指導、鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

NAME 佐々木 正敬

創立二十周年 ここまで潜ぎつけられた先輩の方々のご尽力に心から感謝申し上げます。近頃の私は技術者のヘルニアは未だり諦め「糸巻糸はかなり」をモトにテニスと楽しんでいます。ウイークデイ交歓会等で馬判親さんだ宮城野原のコートも「楽天」の出現により状況が大きく変わってしまいました。来春に完成予定の新コート(?)でのプレイを楽しみにしています

NAME 齋藤 セイ子

私のミックスダブルステビエ
全く初めてのミックス (注)おじい(お)自分のヘアカーテンもおじいおじいから事務局長の方に伺った。今から何年か?自分には1位の差で運搬優勝。ヒビの楽しいステビエとなりまし。 NAME 石 電

テニスは我が財産

硬式を始めて40年になる。ラッキーだったのは会社の同年代の上手な人に独身の時、しかりと教えて貰えたことである。沢松和子、ツル子姉妹を育てた本井浩さんは、1年上で、きれいなテニスをする自らの一人である。今白石のOAZでジュニアのお手伝いをしているがテニスを生涯の友とする人達が増えることを楽しみにしている。

歳王TA NAME 色摩浩三

平成17年11月の誕生日で満92歳。このところ脚力頗る衰え、テニスコートが遠くになりました。これまでのご交誼と感謝と共に、皆様のご健勝と祈ります。

木更村いっしょ見守り(11/24)



NAME 岩月賢一

いつも楽しく参加させて頂きありがとうございます。普段は犬(日本盲導犬協会から譲り受けたキャリアチェンジ犬)に手回・セマをかけすぎ、テニスと思うように出来ないので、これからは、もう少し、時間帯を工夫して、テニスを楽しくしたいと思っております。もう少し、上手にプレイしたい……。どうぞよろしくお楽しみします。連盟の益々の発展を心から願っています。

NAME 菊池克彦

孫子の兵法「敵を知り、己を知れば、百戦危うからず」を座右の銘にして、体力の続くかぎり、テニスを楽しみたいとおもいます。

NAME 安田 勇

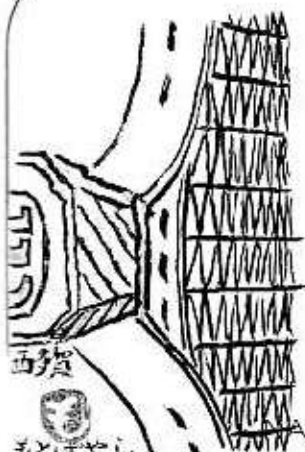
20周年おめでとう！創立当時は、まだ若くてカバー出来ました。20年の歳月と共に、身体にカタガ来て節々は痛くなり、特に腰など・・・年は取りたくないですね！これからは余り無理をしないように楽しみながら、気ままなテニスをしたいものです。これからも宜しくお願いします。

NAME 大賀延行

祝20周年

人生色々、テニス色々。個性ありこそいいじゃないか。やはりテニスを楽しいけれど健康あるのがテニス。人をあんなに愛した切に、20周年に向ってファイト！！

NAME 梅崎千枝子



西賀
もろぼやし

NAME

成の年です

犬の如く、
犬より早く、
ボールを追いたい
ものです

20代所 空人スラーツを体験して楽しかった60代前半 懐かしい始まりテニス部私に思いついた最良のスポーツ。研習会を通じて知り合った多くの方と出会い、毎週、週末、部活が楽しくなりました。そして、今年、20周年を迎え、感謝の気持ちを込めて、お祝い申し上げます。これからも、皆様と共に、テニスを楽しみたいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。渡辺 勇

NAME 渡辺 勇

渡辺 勇

みやぎいきいきテニスバンザイ!
テニスさえあれば熟年離婚回避
我が家はハッピー

樋口 義修
美也子



貯筋する!

60代、70代... になってもテニスを楽めるといのはとても有り難いことである。膝を痛めて一時期テニスができませんから、その思いはひとしおである。以来、関節の衰えを防ごうと、筋トレに励み、貯筋にこれ努めている。

それにしても、三浦尚文三氏はすごい。100歳で現役のスキーヤーなのだから。そこまでは無理としても、30周年にもテニスを楽めていたら幸いである

NAME 犬坂俊明

テニスは
仲良し
楽しく
面白く
復路人歩の良き
スバリスに参ります
NAME

千葉俊司
みちこ

連盟創立20周年おめでとう御座います。私も入会して早いもので15年になります。還暦過ぎてからは今年も出来るかなと思いつつ試合になると年齢や体力のことも忘れて、つい声も大きくなってしまいます。これも「いきいきテニス連盟」の皆さん達の素晴らしいパートナーに巡り会えたおかげです。これからも、あと2~3年はテニスライフを送れるかなとおもっていますので、よろしくおつきあいをお願い致します。(目黒 祐子)

“生涯スポーツのテニス”

テニスは素晴らしいスポーツ、今や生活の一部、齢82歳を迎え生涯続けるために「勝敗は結果に過ぎない自分のプレーに集中する」「楽しむ心が無ければ良いプレーは生まれない」「自分のプレーは自分で責任を持つ」と言う言葉を常に思いプレーしたいと心掛けてます、この素晴らしいスポーツを大いに楽しみお迎え来るまで頑張ります。 光本静夫

八十才を過ぎても元気で
テニスができるように
がんばります

福士



テニスを始めて何十年... 途中のブランクを除けば連盟に
関係して半分以上の期間となつて
おります。
芸が身を助ける... とは言われま
すが、職を辞した後は、その言葉の
始めの部分のとおり、楽しく動き廻
ることが出来ております。
これも皆様と一緒にテニスが出来
るお蔭と思っております。
NAME 青木 興一

平成 17 年度行事実績

た、20周年記念テニス大会にふさわしい戦績結果を見たこと。また、技量別大会においては、Bクラスに於いて女子ペアが久々の優勝するなど特記すべき点が報告されました。

平成18年度年間行事案では、これまで行ってこなかった夏場のWEEK DAY交歓会を、休憩中涼の摂れる民間施設（南インターT・泉パークタウンT）を使用して7・8月も実施する事。平成18年度予算案では、会報を「20周年記念号」として発行するため、発行費前年度比約2倍とした旨、それぞれ提案説明あり一括ご承認いただきました。

最後に平成18年度運営委員及び会計監事について、退任者と新任者の紹介ありご挨拶をいただきました。退任の酒井運営委員・丹治運営委員・菅野会計監事のお三方には本当にご苦勞様でした。新任者の、運営委員大坂俊明・千葉みちこ・土生寛・山崎由美子、会計監事佐々木正敬の皆さんよろしくお願ひ申し上げます。

懇親会は、菅野志津子会員による乾杯のご発声に始まり、WEEKDAY交歓会皆勤者（八重樫トモ会員）への皆勤賞授与。恒例の「お楽しみ抽選会」へと続き、互いにテニス談義に花を咲かせ親交を暖め合う内に予定の時刻になりました。最後は、館内会員に締めをいただき定刻に終了する事が出来ました。

18年度連盟運営に会員各位のご協力をお願いし総会報告と致します。

期日	行事名	会場	参加者数
12/5	室内ダブルス大会	シェルコムせんたい	56
1/26	室内ダブルス大会	シェルコムせんたい	67
3/5	室内団体戦	シェルコムせんたい	88
3/25	Weekday 交歓会	シェルコムせんたい	55
4/14	Weekday 交歓会	宮城野原公園	36
5/15	年総綱ダブルス大会	七北田公園	雨天中止
5/20	Weekday 交歓会	宮城野原公園	34
6/2	Weekday 交歓会	宮城野原公園	38
6/24	Weekday 交歓会	宮城野原公園	38
7/2	混合ダブルス大会	七北田公園	78
7/15	Weekday 交歓会	宮城野原公園	36
7/29	Weekday 交歓会	宮城野原公園	41
9/7	Weekday 交歓会	宮城野原公園	1
9/21	Weekday 交歓会	宮城野原公園	26
10/15	技量別ダブルス大会	七北田公園	72
11/5	連盟祭り(20周年)	七北田公園	115
12/3	総会 懇親会	リトルグリーン	59

以上の行事のほか、対いわき VTC 親善試合、東北テニスマスターズ、ねんりんピック、県テニス協会主催行事、東北テニス協会主催行事、日本テニス協会主催行事、等に多くの会員諸氏が参加され活躍されました。

技量別 B クラスに優勝して

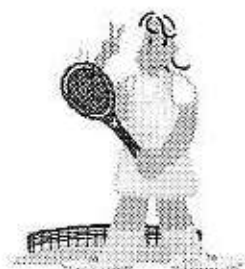
布留川 三枝子

朝から雨が降っていて、“今日の試合は中止かな”と、思いながら我が家を出発。七北田コートに着き、皆さんと会う度に「今日は中止かしら?」「中止だよね!」と、言いながら受付に行きました。既に役員の方々が試合の準備を始められていたので、“今日は間違いなく試合はある”と思い、受付を済ませ対戦相手を決めるくじ引きの時は、少女震えましたが、既にくじ棒は赤、青、1本ずつしか残っていませんでした。私は「青」を引いたのですが、どちらを引いても強豪揃いなので、大澤さんと「頑張るだけ頑張ろうね!」と話をしました。試合前日、久しぶりに大澤さんと練習をした私は、イマイチ駄目で迷惑ばかり掛け、“本番は大丈夫かしら?”と、少し不安でもあったのです。

試合は雨のため4ゲーム先取、3-3の時はタイブレークと決まり、試合に臨んだのですが、なんと1試合・2試合・3試合とまさかの勝ちが続き、張り切って4試合目に挑みましたが、残念ながら負けてしまいました。

でも、嬉しいことにチームで1位になり、決勝戦に出られることになって大喜びです。対戦相手を確認したら、いつもお世話になっている樋口さん、阿部さんの男性ペア。“きついな〜!”でも、“ここまでこれたのだから一生懸命やるっきゃないね!”“頑張ろうね!”と、お互いを励まし、お天気も回復して運も味方してくれたお陰で、決勝戦では僅差で勝つことが出来、夢の様な《優勝》に輝くことが出来ました。

大澤さんには感謝の気持ちで一杯です。【みやぎいきいきテニス連盟】創立20周年という記念すべき年に勝てて、こんな嬉しいことはありません。優勝カップとワイン・ワイングラスを頂き、体の疲れが吹っ飛びました。これからも、みやぎいきいきテニス連盟の発展を心よりお祈り致しております。



混合ダブルスBクラスに優勝して

猪股 つや子

創立20周年おめでとうございます。

体力の衰えを感じて50歳からはじめたテニスですが、今年でようやく10年目を迎えたところです。現在とはとにかく早くテニスの基本をマスターし、ゲームの仲間入りをしたい一心で、練習に励んでおります。試合には、女子ダブルスで3年前に参加したもののレベルの高さに手も足も出ないといった状況でした。その後、経験を積むために混合ダブルスにも出てみようと思いましたが、どのクラスに申し込んでいいのか見当もつきませんでした。恥も省みず1昨年Bクラスに出ることになりました。予選リーグの初戦に大賀さん達のペアに当たり、予想通りの大敗でしたが、その後は運に恵まれて、結局決勝トーナメントのファイナルまで進んでしまいました。その試合は今もよく覚えています。2-5の劣勢から5-5にし、30オールまで競り合いましたが最終的には私のとんでもない大ミスで結局敗れて、2位と言うことになりました。スコアは5-6でしたが実力的には大差だと思いました。そんな訳で、Bクラスは無理と解ったので翌年はCクラスに出場することにしました。ところが、この年のCクラスは実力が伯仲し、すべての試合が大接戦でやっとの思いで勝ち進んだのも単にラッキー以外の何者でもありませんでした。そして今年、Bクラスに出場ということになり、幸運にも勝ってしまいましたが、どの試合も接戦で、あるいは逆転で何とか一つ一つプレーをしていくのがようやくというのが実情でした。パートナーの山本さんが上級者とはいえ、私とはとにかく足を引っ張らないようにと夢中で、時にはアウトボールを何回か返してしまいました。今は2年前に比べれば少しは上達したかしらと感じられる時もありますが、これも楽観的と言われるゆえんでしょうか。還暦を過ぎて、ちょっと練習を怠るとすぐ元の木阿弥、腕が痛い肩が痛いということになってしまいます。まだゲームの経験が圧倒的に少ないのですが、徐々に増やしていければと思います。これからもよろしくお願いします。



※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

◆連盟の推移◆

(会員数、三大大会優勝者、役員)

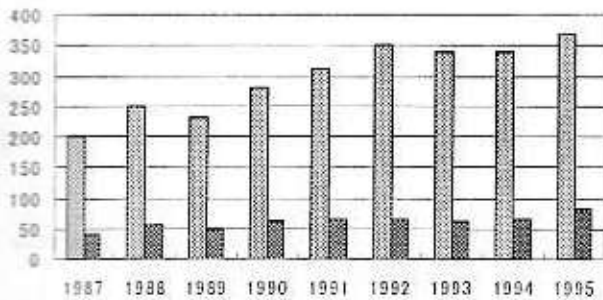
※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

会員数の推移[平成8年～平成17年]

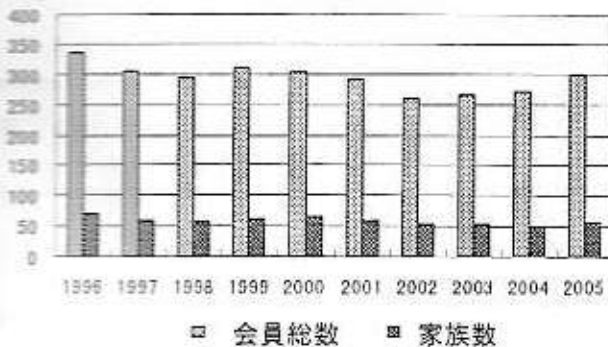
昭和61年(1986年)4月の発足以来、会員の皆様のご努力とご協力により今日まで連盟を維持して来ることが出来ました。発足当時の会員構成は、女子が40歳以上、男子が45歳以上でした。しかし、高齢化社会への移行という状況も踏まえて平成14年(2002年)に年齢構成を、女子55歳以上、男子60歳以上へと規約改正を行い、当時規約を満足しない会員については現状維持という暫定的な処置を行い現在に至っております。

「グラフ1」には昭和62年(1987年)から平成7年(1995年)まで、「グラフ2」には平成8年(1996年)から平成17年(2005年)までの会員数の変動が示されています。当初、総数約200人であったものが、年々会員数を増や続け、平成7年には370名の「大所帯」へと膨れあがった様子が窺われます。

グラフ1 会員数の推移(1987～1995)



グラフ2 会員数の推移(1996～2005)



400名近い数の会員が一堂に会してテニスを楽しむことは連盟が確保出来る公営のテニスコート数からも不可能であり、また、40歳から80歳までのプレーヤーが同種、同レベルのゲームを楽しむことの難しさもありました。特に、男性の若い年齢層からの「不協和音」が出始め、「グラフ2」が示すように会員数も徐々に減少し始めました。各種テニス大会の内容を楽しくするためにも会員の年齢層幅を狭める必要に迫られて平成14年に規約改正を行いました。その後、緩やかではありますが会員数の増加が見られています。

ご夫婦での加入(家族会員)は50組～60組の数を維持しており、共通の趣味を持ち、共通の時間を過ごす機会と場所をご提供出来るのも連盟の主旨の一環であります。

女性会員数と男性会員数の比率は平均43%対57%でやや男性有利の感もありますが、WEEKDAY 交歓会等の行事の出席率は断然女性会員が高く、行事開催日の様子からは「半々」という感じがしています。

平成15年度にはさらに規約改正を行い、満80歳以上の会員の方々に対して「特別会員」制度を設け、高齢者テニスプレーヤーの「範」となってもらい、健康で楽しいテニスライフのご指導を願っております。現在11名の方が在籍されていてこれも当連盟の誇りの一つであります。



みやぎいきいきテニス連盟

三大大会優勝組

(平成8年~平成17年)

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

年齢別ダブルス大会

第11回 (平成8年 5. 26)

女子40+	南谷 綾乃	相原阿城子
女子45+	白根 早苗	大澤 弘子
女子50+	佐々木つや子	後藤 玉子
女子55+	不成立	
女子60+	石垣 晴子	梅崎千枝子
男子45+	梁田 興平	後藤 信
男子55+	近 晴夫	松山 真水
男子60+	神松伊三郎	川口 温弘
男子65+	不成立	
男子70+	室賀 創	小野 泰祐

第12回 (平成9年 6. 22 青葉山)

女子40+	中村 京子	門間 京子
女子45+	大澤 弘子	相原阿城子
女子50+	小峰 良子	玉置 雪枝
女子55+	加藤 信子	菅野志津子
女子60+	坂爪 ミヤ	高橋 明子
女子65+	庄司 勝子	
男子45+	不成立	
男子50+	鈴木 義昭	大久保 潔
男子55+	前田 弘	山内 宏
男子60+	不成立	
男子65+	中村 克宏	星 猛夫
男子70+	丸山 潔	

第13回 (平成10年. 5. 16 ; 泉)

女子40+	山内 伸子	佐藤 勝子
女子45+	小峰 良江	玉置 雪枝
女子50+	酒井 倭子	石橋りつ子
女子55+	渋谷 妙子	有賀 昌子
女子60+	武田 義子	石垣 晴子
女子65+	桜井ノリエ	庄司 勝子
男子45+	酒井 秀章	神尾 一彦
男子50+	佐藤 信	佐々木宏昭
男子55+	有賀 吟生	井澤 秀雄
男子65+	村上 和夫	本間 満雄
男子70+	久保 寿一	桑原 義美

第14回 (平成11年. 5. 29 ; 泉)

女子40+	細野智恵子	山崎由美子
女子45+	佐藤 勝子	和田美代子
女子50+	高橋 民子	置田真樹子
女子55+	日野 佑子	渋谷 妙子

女子60+	石垣 晴子	菅野志津子
男子45+	佐々木宏昭	佐藤 信
男子50+	大賀 延行	和田 武士
男子55+	松山 真水	神松伊三郎
男子60+	矢田 吉明	山本 誠一
男子65+	高橋 重郎	本林 高利
男子70+	小野 泰祐	桑原 義美

第15回 (平成12年. 10. 14 ; 泉)

女子40+	紺野智恵子	山崎由美子
女子45+	糸井 郁子	石亀 幸子
女子50+	佐藤 勝子	小峰 良枝
女子55+	石橋りつ子	有賀 昌子
女子60+	菅野志津子	大賀やす子
女子65+	武田 義子	石垣 晴子
男子45+	会澤 政美	片平 信行
男子50+	庄司 信雄	星 健輔
男子55+	佐々木宏昭	岩月 規之
男子60+	藤 東五郎	和田 忠彦
男子65+	山内 宏	渡辺 勇
男子70+	中村 克宏	菅原 昭夫

第16回 (平成13年5. 20 ; 泉)

女子40+	細野智恵子	杉山 淳子
女子45+	高橋 民子	置田真樹子
女子50+	石亀 幸子	木下 祐子
女子55+	小峰 良江	渋谷 みよ
女子60+	渋谷 妙子	斎藤久仁子
女子65+	鈴木 咲子	梅崎千枝子
男子45+	会澤 正美	片平 信行
男子50+	庄司 信雄	但野 久雄
男子55+	岩月 尚文	岩月 規之
男子60+	池田 稔	松山 真水
男子70+	久保 寿一	桑原 義美

第17回 (平成14年. 7. 21 ; グランデイ21)

女子45+	石亀 幸子	増田 恵子
女子50+	糸井 郁子	和田美代子
女子55+	佐藤 勝子	酒井 倭子
女子60+	加藤 信子	菅野志津子
女子65+	鈴木 咲子	北島 さと
男子50+	池田 稔	松山 真水
男子55+	岩月 尚文	山本 政彦
男子60+	但野 久雄	大賀 延行
男子65+	土生 寛	有賀 吟生

第18回 (平成15年 5. 15 七北田)

女子130+	鈴木 咲子	梅崎千枝子
女子120+	北野 妙子	八重樫トモ
女子110+	大澤 弘子	布留川三枝子
女子110-	置田真樹子	有賀 昌子

男子140+ 岩月 賢一 山本 政彦
男子130+ 高橋哲太郎 矢田 吉明
男子120+ 岩月 尚文 岩月 規之
男子120- 外山 坦 星 健輔

A-クラス： 和田 忠彦 片平 信行
B-クラス： 工藤 和夫 北野 寿一
C-クラス： 古屋 広子 古屋 泰
D-クラス： 田口 茂 守田 忠

第19回 (平成16年 5. 15 ; 七北田)

女子140+ 武田 義子 石垣 晴子
女子130+ 鈴木 咲子 鈴木 秀子
女子120+ 有賀 昌子 郷右近勝子
女子110+ 木下 祐子 石亀 幸子
女子110- 工藤真理子 日高登志子
男子140+ 土生 寛 光本 静夫
男子130+ 舘内 規之 村上 実
男子120+ 但野 久雄 庄司 信雄
男子120- 保志 則行 佐々木宏昭

第16回 (平成15年 3. 30 シェルコム)

A-クラス： 但野 久雄 大場 幸雄
B-クラス： 渡辺 京子 渡辺 幹雄
C-クラス： 藤田 吉雄 斎藤 昭夫
D-クラス： 岩月 賢一 桑原 義美

第17回 (平成15年 11. 22 シェルコム)

A-クラス： 松山 真水 池田 稔
B-クラス： 加藤 丈夫 大賀 延行
C-クラス： 大澤 弘子 布留川三枝子
D-クラス： 柴田 教行 田口 茂

技量別ダブルス大会

第10回 (平成8年 8. 25)

A-クラス： 安田 勇 松山 真水
B-クラス： 南谷 綾子 相原阿城子
C-クラス： 石垣 晴子 柴田 敏男
D-クラス： 笠井 宰 笠井 洋子

第18回 (平成16年 9. 4 七北田)

A-クラス： 安田 勇 池田 稔
B-クラス： 菊池 功 遠藤 一博
C-クラス： 山崎由美子 斎藤 セイ子
D-クラス： 平井 郁子 平井 正光

第11回 (平成9年 8. 24 泉)

A-クラス： 井澤 秀雄 近 晴男
B-クラス： 加藤 忠義 佐々木宏昭
C-クラス： 加藤三千夫 星 健輔
D-クラス： 伊藤 久子 大賀やす子

第19回 (平成17年 10. 15 七北田)

A-クラス： 安田 勇 村上 実
B-クラス： 布留川三枝子 大澤 弘子
C-クラス： 高橋 捷夫 田中 稔
D-クラス： 中村 行秀 鹿野 邦彦

第12回 (平成10年 8. 23 泉)

A-クラス： 井澤 秀雄 佐々木宏昭
B-クラス： 和田 忠彦 藤 東五郎
C-クラス： 庄司 信雄 星 健輔
D-クラス： 本林 高利 杉澤 一夫

混合ダブルス大会

第11回 (平成8年)

A-クラス： 渋谷 陽子 井澤 秀雄
B-クラス： 増田 恵子 渡辺 貞夫
C-クラス： 大山真理子 大山 邦彦
D-クラス： 和田美代子 岩月 賢一

第13回 (平成11年 8. 22 泉)

A-クラス： 有賀 吟生 佐々木宏昭
B-クラス： 庄司 信雄 加藤 忠義
C-クラス： 片平 信行 金澤 正美
D-クラス： 藤 東五郎 藤 征子

第12回 (平成9年 10. 11 泉)

A-クラス： 玉置 雪枝 中村 克宏
B-クラス： 平山 秀子 佐々木宏昭
C-クラス： 大山真理子 大山 邦彦
D-クラス： 首藤 紀子 岩月 賢一

第14回 (平成12年 10. 14 泉)

A-クラス： 和田 忠彦 佐々木宏昭
B-クラス： 但野 久雄 大場 幸夫
C-クラス： 高橋 民子 置田 真樹子
D-クラス： 工藤真理子 西村 則子

第13回 (平成10年 10. 24 青葉山)

A-クラス： 杉山 淳子 桜井 信治
B-クラス： 中村 京子 舘内 規之
C-クラス： 加藤 信子 菅野 義治
D-クラス： 八重樫貞子 八重樫和明

第15回 (平成13年 5. 20 泉)

第14回(平成11年 10. 10 泉)

- A-クラス: 山内 伸子 和泉 博之
- B-クラス: 石亀 幸子 庄司 信雄
- C-クラス: 細野智恵子 細野 誠一
- D-クラス: 武田 義子 杉沢 一夫

第15回(平成12年 5. 20 泉)

- A-クラス: 山内 伸子 佐々木宏昭
- B-クラス: 山崎由美子 庄司 信雄
- C-クラス: 目黒 祐子 石塚十三一
- D-クラス: 石塚 猶子 小野 則夫

第16回(平成13年 10. 21 泉)

- A-クラス: 佐藤 勝子 佐々木宏昭
- B-クラス: 古屋 広子 古屋 泰
- C-クラス: 八重樫トモ 中村 克宏
- D-クラス: 菅野志津子 塩地 淳一

第17回(平成14年 6. 15 シェルコム)

- A-クラス: 石亀 幸子 庄司 信雄
- B-クラス: 日高登志子 和田 忠彦
- C-クラス: 置田真樹子 置田 輝雄
- D-クラス: 梅崎千枝子 岩月 賢一

第18回(平成15年)

- A-クラス: 日高登志子 片平 信行
- B-クラス: 遠藤 慶子 保志 則行
- C-クラス: 樋口美也子 樋口 義修
- D-クラス: 平井 郁子 平井 正光

第19回(平成16年 6. 19 シェルコム)

- A-クラス: 糸井 郁子 和田 忠彦
- B-クラス: 増田 恵子 斎藤 昭男
- C-クラス: 猪股つや子 山本 政彦
- D-クラス: 梅崎千枝子 佐藤 富夫

第20回(平成17年7. 2 シェルコム)

- A-クラス: 糸井 郁子 館内 規之
- B-クラス: 猪股つや子 山本 政彦
- C-クラス: 萩原 栄子 石田 哲也
- D-クラス: 丸山美智子 渡辺 勇

運営委員会構成 [平成8年~平成18年]

[平成8年度]

- 委員長: 山本 忠 副委員長: 中村 克宏
- 委員: 有賀 吟生 石垣 晴子 梅崎 千枝子
- 川口 温弘 菅野 志津子 佐藤 勝子

- 日野 佑子 松山 真水 和田 美代子
- 幹事: 大賀 延行 高橋 龍夫 本間 満夫

[平成9年度]

- 委員長: 伊藤 一利 副委員長: 中村 克宏
- 委員: 浅野 隆朗 石垣 晴子 長田 輝夫
- 菅野 義治 菅野 志津子 酒井 倭子
- 坂爪 ミヤ 佐藤 勝子 首藤 紀子
- 嶋田 園子 高橋 明子 館内 規之
- 山内 宏 和田 美代子

- 幹事: 大賀 延行 高橋 龍夫 本間満夫

[平成10年度]

- 委員長: 伊藤 一利 副委員長: 中村 克宏
- 委員: 浅野 隆朗 石垣 晴子 長田 輝夫
- 菅野 義治 北野 妙子 酒井 倭子
- 佐々木つや子 渋谷 妙子 嶋田 園子
- 首藤 紀子 武田 義子 館内 規之
- 目黒 佑子 山内 宏 八重樫 トモ

- 梁田満寿子

- 幹事: 大賀 延行 高橋 龍夫 本間 満夫

[平成11年度]

- 委員長: 伊藤 一利 副委員長: 中村 克宏
- 委員: 浅野 隆朗 石垣 晴子 長田 輝夫
- 菅野 義治 北野 妙子 酒井 倭子
- 佐々木つや子 渋谷 妙子 嶋田 園子
- 首藤 紀子 武田 義子 館内 規之
- 目黒 佑子 山内 宏 八重樫 トモ

- 梁田満寿子

- 幹事: 大賀 延行 高橋 龍夫 本間 満夫

[平成12年度]

- 委員長: 中村 克宏 副委員長: 山内 宏
- 委員: 菅野 義治 北野 妙子 酒井 倭子
- 佐々木つや子 佐々木宏昭 渋谷 妙子
- 嶋田 園子 首藤 紀子 武田 義子
- 目黒 佑子 八重樫トモ 梁田満寿子
- 和田 忠彦

- 幹事: 大賀 延行 高橋龍夫

[平成13年度]

- 委員長: 中村 克宏 副委員長: 菅野 義治
- 委員: 石塚十三一 大和田美穂 長田 輝夫
- 酒井 倭子 佐々木つや子 佐々木宏昭
- 渋谷 妙子 嶋田 園子 首藤 紀子
- 武田 義子 目黒 佑子 八重樫トモ
- 梁田満寿子 和田 忠彦

- 幹事: 大賀 延行 高橋 龍夫

[平成14年度]

委員長：中村 克宏

副委員長：菅野 義治 和田 忠彦

委員：石塚十三一 梅崎千枝子 大和田美穂

長田 輝夫 北野 妙子 後藤玉子

斎藤セイ子 酒井 俊子 佐々木宏昭

武田 義子 外山 坦 八重樫トモ

幹事：大賀 延行 高橋 龍夫

[平成15年度]

委員長：中村 克宏

副委員長：菅野 義治 和田忠彦

委員：青木 興一 石塚十三一 梅崎千枝子

大和田美穂 長田 輝夫 北野 妙子

後藤 玉子 斎藤セイ子 酒井 俊子

佐々木宏昭 武田 義子 外山 坦

八重樫トモ

幹事：大賀 延行 高橋 龍夫

[平成16年度]

委員長：中村 克宏

副委員長：和田 忠彦

委員：青木 興一 有賀 吟生 石塚十三一

梅崎千枝子 大谷 昌子 後藤 玉子

斎藤セイ子 酒井 俊子 佐々木宏昭

丹治真木子 外山 坦 奈良征一郎

松山 真水 八重樫トモ

幹事：大賀 延行 高橋 龍夫

[平成17年度]

委員長：中村 克宏

副委員長：和田 忠彦

委員：青木 興一 有賀 吟生 石塚十三一

梅崎千枝子 大谷 昌子 後藤 玉子

斎藤セイ子 酒井 俊子 佐々木宏昭

丹治真木子 外山 坦 奈良征一郎

松山 真水 八重樫トモ

幹事：大賀 延行 高橋 龍夫

[会計監事] 平成10年度より規約の改正により会計監事2名をおき、会計監査を受けることになりました。

次の方々に監事をお願いいたしました。

「平成10年度～」 高橋 恒男 村上 和夫

「平成12年度～」 村上 和夫 山本 忠

「平成15年度～」 白根 晴男 村上 和夫

「平成16年度～」 菅野 義治 白根 晴男

「平成18年度～」 佐々木正敬 白根 晴男

◆◆◆諸行事のご案内と◆◆◆

◆参加申込方法について◆

運営経費節減と事務処理の簡略化を図るために行事案内等について大幅な変更をいたすことになりました。会員の皆さんにはご不便をお掛けすることもあります。何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

昨年までは、行事のご案内はその度毎に「ご案内」をプリントし各会員個人宛てに郵送いたしておりました。今年より行事のご案内は会報内に各行事毎に分けて一括して掲載いたします。

開催期日、会場、時間、参加料、申込方法、申込締切期日等が記載されています。参加の申込は会員専用の私製ハガキを会報に閉じ込みましたのでご利用下さい。この「申込ハガキ」に必要事項を記入して必ず50円切手を貼り締切期日までに届くように投函して下さい。

「ご案内」掲載行事は、年齢別ダブルス大会、混合ダブルス大会、技量別ダブルス大会、連盟祭り、対いわきVTC親善試合、東北テニスマスターズ、室内ダブルス団体戦および県テニス協会より協力依頼のありました宮城県テニスマスターズ春秋両大会です。連盟主催行事につきましては会報「年間行事予定表」に申込締切期日が記載されておりますのでご参照下さい。WEEKDAY交歓会は例年どおり自由参加とし、都合の良い時間に参加してください。会費は700円/人です。今年度は宮城野原コートが「楽天」の試合等のため駐車場の使用が不便になりました。夏季のWEEKDAY交歓会は泉PTTCおよび南インターTCのご協力を得て両テニスクラブでの開催となります。

雨天等により大会が中止になった場合、会場等の都合で開催期日および会場が変更された場合等のご案内は別途「ハガキ」により皆さんにお知らせいたします。

私製「申込ハガキ」には「連絡用」の欄が設けてあります。皆さんのご意見やご要望がありましたら遠慮なく委員会まで届けてください。

年間行事予定表

開催日	行事名	会場	申込締切日
4月17日(月)	WEEK DAY交歓会	宮城野原公園	自由参加
5月6日(土)	年齢別ダブルス大会	七北田公園	4月28日必着
5月24日(水)	WEEK DAY交歓会	宮城野原公園	自由参加
6月2日(金)	室内ダブルス大会	シェルコムせんだい	自由参加
6月9日(金)	WEEK DAY交歓会	宮城野原公園	自由参加
7月15日(土)	混合ダブルス大会	七北田公園	7月7日必着
7月25日(火)	WEEK DAY交歓会	南インターTC	自由参加
8月21日(月)	WEEK DAY交歓会	泉パークタウンTC	自由参加
9月8日(金)	WEEK DAY交歓会	宮城野原公園	自由参加
9月9日(土) 10日(日)	対いわきVTC親善試合	グリーンピア岩沼	8月10日必着
10月5日(木) 6日(金)	東北マスターズ	盛岡市 「太田テニスコート」	7月10日必着
10月6日(金)	WEEK DAY交歓会	宮城野原公園	自由参加
10月22日(日)	技量別ダブルス大会	七北田公園	10月16日必着
11月5日(日)	連盟祭り	七北田公園	10月27日必着
11月15日(水)	WEEK DAY交歓会	宮城野原公園	自由参加
2007.1月10日(水)	新春ダブルス大会、総会	シェルコムせんだい	自由参加
2月7日(水)	室内ダブルス大会	シェルコムせんだい	自由参加
3月3日(土)	室内ダブルス団体戦	シェルコムせんだい	2月23日必着

上表中、太字で書かれた行事に参加する場合は、前もっての申込が必要です。申し込みする場合は会報内差し込みの連盟私製の「申込用ハガキ」に50円切手を貼り投函して下さい。或いは官製ハガキに必要事項を明記して締切日までに申し込んで下さい。申込の受付は原則として締切日の2週間前からとさせていただきます。

WEEK DAY交歓会は従来通り自由参加といたします。参加費は700円/人です。都合の良い時間にお誘いあわせ参加下さい。7月及び8月のWEEK DAY交歓会の会場は民間のテニスクラブとなります。7月は南インターTC、8月は泉パークタウンTCです。間違いのないようにご注意ください。

例年12月第一土曜日に開催してきました総会は1月10日(水)に開催されます「室内ダブルス大会」時、頃合いを計り開催いたします。経費節減のため、昨年までのようにその都度のご案内は省略させていただきます。ご協力下さいますようお願いいたします。

上記諸行事の他に、ねんりんびっくに関連した下記の大会が開催されます。こちらの方にもご参加いただけますよう、ご案内いたします。

開催日	行事名	会場	申込締切日
4月8日(土)	宮城県テニスマスターズ春季大会	シェルコムせんだい	4月3日必着
10月1日(日)	仙台市高齢者いきがい健康祭	七北田公園	9月上旬
11月18日(土)	宮城県テニスマスターズ秋季大会	シェルコムせんだい	11月13日必着

マスターズ大会は、ねんりんびっくの宮城県代表の選考会を兼ねており、いきがい健康祭は仙台市代表を選考する大会となっております。いきがい健康祭の案内は8月の「市政だより」に掲載されます。詳しくは担当の北畠 宏(291-8583)まで、問い合わせ下さい。

この他に、宮城県テニス協会で開催する 春季テニストーナメント、国体予選、シングルス選手権、県テニス選手権等の大会があり、会員が参加できる年齢別種目が多数あります。詳細は、事務局または青木(251-6411)まで問い合わせ下さい。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

年齢別ダブルス大会要項

期日：5月6日(土) 09:00～17:00
08:45までに集合。
会場：七北田公園コート(砂入り人工芝コート8面)
種目：女子：110+、120+、130+、140+
男子：120+、130+、140+、150+
試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式。
参加費：1200円/人(当日会場にて徴収します。)
表彰：各種目毎に 優賞、準優賞、第3位まで表彰します。

(ただし、参加組数により変わります。)

入賞者を除きお楽しみ抽選会があります。

参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」
に必要事項を明記して申し込んで下さい。
過去に優賞した組は、パートナーを替えるか、
若い年齢種目に出場して下さい。単独での申
込も可ですがパートナーはご一任下さい。

申込受け付け期間：4月15日～4月28日。

申込締切：4月28日必着です。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

混合ダブルス大会要項

期日：7月15日(土) 09:00～17:00
08:45までに集合。
会場：七北田公園コート(砂入り人工芝コート8面)
種目：混合ダブルス Aクラス、Bクラス、Cクラス、
Dクラスの4種目。
試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式。
参加費：1200円/人(当日会場にて徴収します。)
表彰：各種目毎に 優賞、準優勝、3位まで表彰します。

(ただし、参加組数により変わります。)

入賞者を除きお楽しみ抽選会があります。

参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」
に必要事項を明記して申し込んで下さい。
過去に優賞した組は、パートナーを替えるか、
上位のクラスに出場して下さい。単独での申
込も可ですがパートナーはご一任下さい。

申込受け付け期間：6月23日～ 7月7日

申込締切：7月7日必着です。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

技量別ダブルス大会要項

期日：10月22日(土) 09:00～17:00
08:45までに集合。
会場：七北田公園コート(砂入り人工芝8面)
種目：技量別ダブルス Aクラス、Bクラス、Cクラス、
Dクラスの4種目。
試合方法：各種目とも原則としてラウンドロビン方式。
参加費：1200円/人(当日会場にて徴収します。)
表彰：各種目毎に 優賞、準優勝、3位まで表彰します。

(ただし、参加組数により変わります。)

入賞者を除きお楽しみ抽選会があります。

参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」
に必要事項を明記して申し込んで下さい。
過去に優賞した組は、パートナーを替えるか、
上位のクラスに出場して下さい。
単独での申込も可ですがパートナーはご一任
下さい。

申込受け付け期間：10月2日～10月16日。

申込締切：10月16日必着です。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

連盟祭り大会要項

期日：11月5日(日) 09:00～17:00
08:45までに集合。
会場：シェルコムせんだい(砂入り人工芝コート6面)
種目：女子ダブルス、男子ダブルス、混合ダブルスによ
る団体戦。
試合方法：参加者全体を4組に分け、各組毎に女子ダブ
ルス、男子ダブルス、混合ダブルスパア・を
作り種目毎の対戦を行う。
表彰：各種目の成績を集計し1位、2位、3位、4位の
順に表彰し賞品の授与があります。
参加申込：所定の「申込ハガキ」あるいは「官製ハガキ」
に必要事項を明記して申し込んで下さい。全体の
バランスをとるために委員会にて組み分けおよびパ
ートナーを決めさせていただきます。

申込受け付け期間：10月13日～10月27日

申込締切：10月27日必着です。

みやぎいきいきテニス連盟

会 員 名 簿

平成18年3月1日 現在



氏 名	氏 名
青木 興一	
青木 美智子	
浅野 正司	
浅野 由利子	
跡辺 清子	
阿部 昭彦	
阿部 真知子	
阿部 千枝子	
阿部 ちづ子	
阿部 彦人	
阿部 秀子	
有賀 吟生	
有賀 昌子	
飯野 雅	
池田 稔	
池田 洋子	
井澤 秀雄	
井澤 三幸	
石井 好子	
石垣 晴子	
石亀 幸子	
石川 トヨ子	
石田 泰子	
石田 哲也	
石田 美津子	
石塚 十三一	
石戸谷 実	
石橋 りつ子	
伊勢田 恒雄	
伊東 清志	
伊東 はつ子	
伊藤 一利	
伊藤 久子	
伊藤 ひろみ	
糸井 郁子	
藤 股 つや子	
犬飼 とい	
岩井 隆太郎	
岩佐 義紀	
岩月 賢一	
岩月 尚文	
岩月 矩之	
岩淵 剛也	
内山 定男	
梅崎 千枝子	
海野 哲夫	

氏	名
遠藤	一博
遠藤	慶子
大内	春美
大賀	延行
大賀	やす子
大坂	俊明
大坂	敏子
大澤	弘子
太田	せつ子
大塚	史子
大槻	良子
大場	幸男
大谷	昌子
大山	邦彦
大山	真理子
大和田	美穂
大和田	章子
小川	昌子
置田	輝雄
置田	真樹子
荻原	栄子
奥井	紀美子
小野	泰祐
小野寺	嘉郎
小原	和夫
小原	浩
加賀	泰彦
加賀	幸子
角田	勇
笠井	幸
笠井	洋子
片平	信行
加藤	丈夫
加藤	信子
加藤	忠義
加藤	元浩
加藤	知子
金澤	隆機
金子	利幸
鹿野	邦彦
鎌田	修一
神山	智明
河上	毅
川口	温弘
菅野	桂子
菅野	義治
菅野	志津子
菊地	功
菊池	克彦
菊池	啓子
北野	寿一
北野	妙子

氏	名
北 島	宏
北 島	さと
木 村	多喜雄
木 村	むつ子
工 藤	和 夫
工 藤	昌 清
工 藤	真理子
久 保	寿 一
桑 原	義 美
剣 持	勝 衛
剣 持	啓 子
郷右近	勝 子
小 池	泰 人
神 松	伊三郎
小 関	美樹子
五 島	健 雄
小田島	政 勝
後 藤	真 一
後 藤	玉 子
小 林	富美子
小 山	恒 男
紺 野	規 子
西 城	啓 子
斎 藤	昭 男
斎 藤	セイ子
斎 藤	幸 枝
酒 井	秀 章
酒 井	倭 子
坂 本	政 祀
坂 爪	ミヤ
桜 井	ノリエ
佐々木	京 子
佐々木	宏 昭
佐々木	正 敬
佐々木	恵 子
佐 藤	信 二
佐 藤	みつ子
佐 藤	勝 子
佐 藤	克 夫
佐 藤	良 枝
佐 藤	富 男
佐 藤	尚 武
塩 地	悼 一
塩 地	照
色 摩	浩 二
色 摩	美津代
篠 田	幸 子
柴 田	教 行
柴 田	登 子
芝 村	直 樹
渡 谷	妙 子

氏	名
澁谷	陽子
澁谷	みよ
嶋田	鼎子
嶋田	園子
首藤	紀子
庄司	信雄
庄司	勝子
上所	操
白根	晴男
白根	早苗
菅原	昭夫
菅原	香子
鈴木	総一郎
鈴木	暎子
鈴木	喜久信
鈴木	秀子
鈴木	東行
鈴木	義昭
清野	利雄
関野	郁子
曾根	幸治
台野	清子
高橋	捷夫
高橋	重郎
高橋	孝男
高橋	武也
高橋	龍夫
高橋	民子
高橋	恒男
高橋	明子
高橋	哲太郎
高橋	昌明
高橋	洋二
滝本	光子
多久	堯夫
田口	茂
武田	義子
太宰	芳郎
但野	久雄
館正	隆子
館繁	子
館内	規之
田澤	良次
田澤	テイ子
田中	稔
棚橋	美恵子
玉山	豊
玉山	梅子
丹治	真木子
千葉	鴻二
千葉	俊司
千葉	みちこ

氏	名
中	録 不二雄
富	樫 清子
富	谷 芳夫
外	山 坦
長	沢 仁
長	沢 光子
中	川 和子
中	村 克宏
中	村 行秀
浪	岡 亮
奈	良 征一郎
南	谷 裕洋
南	谷 綾乃
長	谷川 幸子
土	生 寛
樋	口 義修
樋	口 美也子
日	高 登志子
日	野 佑子
平	井 正光
平	井 郁子
深	谷 實
福	士 レイ
藤	澤 多巳夫
藤	田 吉雄
船	坂 除郭
布	留川 三枝子
星	健 輔
星	猛 夫
星	将 博
星	公 子
保	志 則 行
星	川 登
本	野 日出子
本	間 満雄
増	田 恵子
松	尾 美代子
松	下 洋子
松	山 真水
丸	子 和子
丸	谷 美智子
三	浦 幸子
三	木 武吉
三	木 和子
光	本 静夫
美	村 憲輝
美	村 景子
村	上 和夫
村	上 実
村	山 洋之介
目	黒 祐子
本	林 高利

氏	名
守	田 忠
八重樫	トモ
安	田 勇
矢	崎 則彦
矢	田 慶治
矢	田 吉明
梁	田 興平
梁	田 満寿子
山	口 剛
山	口 佳子
山	崎 由美子
山	本 政彦
米	竹 裕一郎
和	田 武士
和	田 美代子
和	田 忠彦
渡	辺 勇
渡	辺 貞夫
渡	辺 トミ子
渡	辺 康晴
渡	辺 都弥子

平成 17 年 12 月以降に入会された会員。

氏	名
北	村 信也
菊	池 昭男
菊	池 繁夫
杉	山 晟

「みやぎいきいきテニス連盟 会員名簿」の管理について

会報に同時掲載しております会員名簿には、氏名・電話番号・郵便番号・住所・所属団体名が記載されています。個人情報
 報の悪用が懸念されますので、勤務先および生年月日は省略してあります。念の為、会員各位におかれましては名簿の管
 理について十分なご配慮をお願い申し上げます。なお、誤字・脱字等がありましたら、年会費納入時の振込用紙通信欄あ
 るいは行事参加申込用「連盟私製ハガキ」の連絡欄にて事務局宛てご連絡下さい。

宮城県テニス協会	022-292-1300 983-0952	仙台市宮城野区榴岡 2-2-8	コーポ童子 201
東北テニス協会	019-605-6221 020-0833	盛岡市西見前 19-60-1	
日本テニス協会.	03-3841-2321 166-0002	東京都渋谷区神南 1-1-1	岸記念館 4F

みやぎいきいきテニス連盟 規約

総則

第1条 本会はみやぎいきいきテニス連盟と称する。

第2条 本会は次に掲げる正会員、特別会員および賛助会員を以て構成する。

正会員：宮城県内に居住または勤務する、男子60歳以上、女子55歳以上のテニス愛好者とする。ただし、正会員が県外に転出した場合は本人の希望により正会員の資格を継続することが出来る。

特別会員：正会員の中で80歳以上の会員を特別会員とする。

賛助会員：本会の趣旨に賛同し、本会の活動を支援する個人及び団体。

第3条 本会はテニスを通じて、会員の健康増進と相互の友好をはかることを目的とする。

第4条 本会はその目的を果たすため次の活動を行う。

- (1) テニス大会
- (2) テニス練習会
- (3) 会報の発行
- (4) その他、本会の趣旨に沿い運営委員会にて企画されたこと。

会計

第5条 本会の事業年度は12月1日に始まり翌年の11月末日に終わる。

第6条 本会活動に必要な経費は正会員の納める年会費、大会、練習会等ごとに徴収する参加費及びその他の寄付金を以てあてる。

第7条 正会員は年会費を納めなければならない。ただし、特別会員はこれを免除される。年会費の総額は総会で定める。

第8条 運営委員会は年度末に翌年度における諸活動の実行計画およびそれに伴う予算案ならびに、当年度の決算案を作成し、総会の承認を得なければならない。

第9条 当年度の予算案に提示されていない緊急臨時の費用については運営委員会の議を経て支出することが出来る。但し、この場合においては次の総会に報告し、総会の承認を得なければならない。

第10条 会費の納入期限は毎年6月末とする。納入なき場合は休会扱いとし、以後の通信連絡は行わない。年度内に納入なき場合は退会扱いとする。

役員 および 役員会

第11条 本会の活動を組織的に実行するため次の役員をおく。

運営委員：本会の諸活動の具体的な企画およびその実行計画を策定実施するため、必要数の運営委員を置く。運営委員の任期は1年とし、前

年度の総会において選出する。再任または重任を妨げないが、原則として引き続いて3年を超えることはできない。

委員長および副委員長：運営委員の互選により委員長1名を選定する。副委員長は運営委員の中から1ないし2名を委員長が指名する。委員長は本会を代表するとともに、第12条に定める役員会を招集しその議長となる。副委員長は委員長に事故あるとき委員長の役を代行する。

幹事：運営委員会が計画実行上必要と認めるときは業務に精通した若干名の幹事を委嘱することが出来る。幹事は運営委員会の議に加わり前年度の総会で委嘱された事項の実務を担当する。幹事の任期は1年とし、再任または重任を妨げない。

会計監事：2名の会計監事を前年度の総会において選出する。会計監事は会計委員の行う業務の監査を行う。任期は1年とし、再任または重任を妨げないが、引き続いて3年を超えることはできない。

第12条 本会の活動方針を協議し、実行計画を策定し、また会務を掌理するために次の役員会を開く。

運営委員会：運営委員および幹事で組織し、会の諸活動を具体的に企画実施するための協議を行い、かつ、会務を掌理する。

総会：役員を含む全会員で構成し、本会の活動方針の大綱を定め、運営委員会の提示する活動計画案、予算案および決算案を審議する。総会は会員の十分の一以上の出席によって成立する。また、委任状を以て出席に代えることが出来る。

第13条 本会の事務を処理するために事務局を置く。

付 則

第14条 本規約に定める他、本会の諸活動の具体的な企画実施に必要な細則は運営委員会で定めるものとする。

第15条 本規約の改正は総会の議決による。

細 則

第16条 平成14年12月1日現在、60歳未満の男子会員および55歳未満の女子会員は正会員として当連盟に留まることが出来る。年齢別大会等の実施内容については、その時点の状況を考慮し、運営委員会において検討を行い善処する。

(平成8年3月26日改正)

(平成9年12月6日改正)

(平成14年12月7日改正)

(平成15年12月6日改正)



%%%

平成18年度役員と担当任務

委員長	中村 克宏	全体統括			
副委員長	和田 忠彦	総務・対外部			
運営委員	青木 興一	県テ協常任理事・競技	運営委員	石塚 十三一	会計主任・対外部
	有賀 吟生	対外部主任・競技		八重樫 卜也	会計・競技
	佐々木 宏昭	競技主任		松山 眞水	会報主任・競技
	後藤 玉子	競技・総務		梅崎 千枝子	会報・競技
	大谷 昌子	競技		大坂 俊明	会報・競技
	斎藤 セイ子	競技		奈良 征一郎	事務局・競技
	千葉 みちこ	競技	幹 事	大賀 延行	事務局・競技
	山崎 由美子	競技		高橋 龍夫	事務局
	外山 坦	W.D 主任・競技	会計監事	白根 晴男	
	土生 寛	W.D・競技		佐々木 正敬	

%%%





シェルコム仙台 (写真提供は北野寿一氏)

編集後記

★20周年記念大会4チーム共、同じ勝利試合数まさに奇跡、記念大会にふさわしい記憶に残る大会。

★歴代委員長三名の方に寄稿頂いた、東北のテニスの歴史や連盟誕生の経緯が鮮明にわかる、連盟を運営された方々のご苦勞もひとかたならぬものがあった。

★いわきVTCの塩坂会長よりお祝辞を頂いた、20年の深い交流の歴史と対戦結果があり、この交流はいつまでも存続したい。当連盟の白星が増える様奮起せねば。

★退会し愛媛にお住まいの山内さんには近況をお知らせ頂いた、テニスを中心に

いままでの趣味を生かして郷里の方々と親交しておられ、第二の人生の参考になる。

★皆様からの[寄せ書き]メッセージ、短いながら心のこもったものでした、小さなスペースにこんなにも色々なことが表現できるんだ!と改めて感心しました。寄稿していただいた皆様有難うございました、楽しみながら編集いたしました。

★故菊田さんの思い出を奥井さんに10年誌に続き筆をとっていただいた、いつまでも思い出に残る密度の濃いテニスを通しての親交は素晴らしい、感動。

★新しい試みとしてこの会

報に、平成18年の主要大会要項を載せ、申込みのための私製ハガキを綴じ込みました。事務の合理化と経費の削減のためですが、都度の連絡ではなくなったので、うっかり申込みを忘れる会員が出ないか心配です。角を矯めて牛を殺す結果にならぬ様、皆さん注意して下さい。

★去年の末から、観測史上まれな大雪の厳冬で、雪のため100人を超す死者がでる寒い冬でしたが、編集委員会は終始暖かい雰囲気の中、記念号を纏めることができました、感謝。

★北野寿一さんには表紙の写真で一方ならぬご協力頂きました、深謝。



編集発行 みやぎいきいきテニス連盟運営委員会
事務局